【高等学校　詩　優秀賞】

つないでいくこと

沖縄県立北中城高等学校　三年
仲宗根　咲季

瞳を閉じて
手足をいっぱいにひろげ
風を感じて
耳をかたむける
平和だから
生きているから
出来ること

働いて
オシャレして
恋をして
新しい生命の誕生を喜ぶ
平和だから
生まれてこれたから
出来ること

平和だな
そんなことを感じられる人がいて
感じられない人がいて
感じることの出来ない人がいて

同じ地球に
同じ空の下に
生まれ　育ってきたのに
生まれた場所で
こんなにも違う

同じ地球で
同じ空の下に
同じ時間を過ごしているのに
時間の感じる重み

一日の
一時間の
一分の
一秒の
一瞬を感じる重みが
こんなにも違う

今　この瞬間
私達は食事をする
話す　笑う　寝る

今　この瞬間
別の場所で
銃弾から逃れ
明日の我が身をおびやかされる人たちがいる

同じ地球に生まれ
同じ世代を生きる私たち
一人一人は違えど
同じ人間
幸せになる権利だって
平等にあたえられたはずなのに

幸せを
平和を
願っているはずなのに
何故同じ過ちを犯す

知らず知らずにつないできた糸も
気付けばはるか長い歴史となる

私たちが今すべきことは
その糸を幾世にもつないでいくこと
平和な世界を子どもたちに
渡すこと